

Cisco E メール セキュリティ アプライアンスで、特定のサブネットでのソース インターフェイスを使うかを強制するにはどうしますか。

目次

[質問](#)

質問

Cisco E メール セキュリティ アプライアンスで、特定のサブネットでのソース インターフェイスを使うかを強制するにはどうしますか。

環境： Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) AsyncOS のすべてのバージョン

自動のための動作は各サブネットに 1 IP アドレスだけあるときかなり単純です。 特定のインターフェイスは配信のためにおよび使用されること環境が持っていれば複数の IPS を必要とするサブネットの場合、どのインターフェイスが使用されるか強制するのにネットマスクを使用できます。 その効果について説明します。

通常、そのような同じネットマスクを、使用するためにサブネットのすべての IPS を設定します:

現在設定済みインターフェイス:

1. Interface1 (10.0.0.1/24: interface1.example.com)
2. Interface2 (10.0.0.2/24: interface2.example.com)
3. Interface3 (10.0.0.3/24: interface3.example.com)

10.0.0.1 にプライマリ配信インターフェイスでほしかった場合そのような 255.255.255.0 の実質ネットマスクを 10.0.0.1 に残す 255.255.255.255 であるために他の 2 つのアドレスのネットマスクを変更します:

現在設定済みインターフェイス:

1. Interface1 (10.0.0.1/24: interface1.example.com)
2. Interface2 (10.0.0.2/32: interface2.example.com)
3. Interface3 (10.0.0.3/32: interface3.example.com)

各インターフェイスのためのネットマスクを編集するために、コマンドを使用して下さい:

```
interfaceconfig -> edit -> interface name or number -> change this setting:
```

```
Netmask (Ex: "255.255.255.0" or "0xffffffff00"):  
[255.255.255.0]> 255.255.255.255
```

1 IP が実質ネットマスクに残る限り、255.255.255.255 へネットマスクを変更することに悪影響がありません。 AsyncOS は各サブネットのために既にこれを行っています。 interfaceconfig でこれを変更することによって、どのインターフェイスがこれが自動化されるようにかするかわりに実質ネットマスクがあるか単に強制しています。